

材長	樹種	杉			桧		
	径級	直	曲	動向	直	曲	動向
4.0m	7				11,000	10,000	→
	9~12	9,000	8,000	→	11,000	10,000	→
	13~14				14,900	-	→
	15~16	11,500	9,500	→	21,400	15,000	→
	18~22	14,500	12,000	→	18,000	16,000	→
	24~28	14,000	12,000	→	18,500	17,500	→
	30~	13,000	11,000	→	18,000	17,000	→
3.0m	7				9,000		→
	9~12	8,000	8,000	→	10,500	9,500	→
	13~14				12,500	9,000	→
	15~16	13,500	10,000	→	21,400		→
	18~22	14,000	12,000	→	18,600	15,900	→
	24~28	14,000	12,500	→	17,400	15,400	→
	30~	13,000	11,000	→	15,500	14,000	→
2.0m	18~22	4,000	4,000	→	9,500	9,000	→
	24~28	4,000	4,000	→	11,000	10,000	→
	30~	4,000	4,000	→	11,000	10,000	→
6.0m	16	16,000	-	→	23,000		→
	18~20	18,000	16,000	→	25,000	23,000	→
市況	<p>約3400㎡の取扱い。 天候も安定しはじめ、徐々に出材増加中。但し、県下全域的には品薄。 その為、桧は高値傾向。杉は横ばい。 県下全域、例年に比べ搬出やや遅れ気味。 搬出が遅れた材でも取扱できる材も多いです。判断に迷う場合があれば一度ご連絡ください。</p>						
	<p>上記は協定価格となりますが、材の品質及び形状によっては、協定価格とは異なります。 ヒノキは18cm未満は3m中心、18cm以上は4m中心、スギは18cm以上は4m中心の造材を宜しく願います。 大曲材については、18cm上からはヒノキ・スギ共に4mが有利です。 末口18cm以上あるヒノキは4m造材願います。 次回 第556回市は11月10日(土)です。</p> <p>一般材(小径木等)につきましては、元の根張りを外した中玉造材・余尺は7~10cmの造材をお願いします。 (※余尺の長短に規格外のものが多く見受けられます。ご注意ください。) 【次回つち日】12月4日 ~ 12月18日 つちの期間です。元倒しは控えてください。</p>						